

3面からつづき

育児負担軽減や孤立感解消を図るため、令和4年度の開設に向けて、住吉地区および亀戸地区において、子ども家庭支援センターの整備を進めます。

さらに、増加する児童虐待への対策のひとつとして、子ども家庭支援センターにおいて、地域で見守りが必要な家庭を対象とした定期的な訪問活動を、令和3年度より順次実施していきます。



▲住吉地区に整備される子ども家庭支援センター外観(児童向け複合施設内)

教育のICT化を推進

教育施策では、令和3年度からの5年間を見据え策定した「第2期教育推進プラン・江東」に基づき、児童・生徒1人1台の端末と高速無線LANからなるGIGAスクール構想の実現により、教育のICT化を推進し、次代を担うこどもの資質・能力を確実に育成していきます。

また、特別な支援が必要な子どもたちに対する、きめ細かな教育支援を行うため、特別支援教育システムを導入し、教育相談を充実するなど、一人ひとりを大切にしたい教育を進めていきます。

区民の力で築く元気に輝くまち

中小企業支援の充実

中小企業支援では、新型コロナウイルス感染症対策資金について延長するとともに、中小企業診断士との連携を強化し、きめ細かな相談を受けることができる体制を整備します。

江東ブランド推進事業では、本区のモノづくり企業をPRするた

め、既存のホームページに、各社の製品や技術の紹介に特化したページを設置します。



▲江東ブランドのPRを推進

また、区内中小企業の課題解決に向けたICT化を促進するため、コンサル派遣経費やICTツール導入経費の補助を行い、中小企業の生産性向上を図ります。

商業振興では、個人消費を喚起し、地域経済の活性化を促すため、20%のプレミアム付区内共通商品券を発行するとともに、商店街の魅力創出のため、空き店舗を活用して開業する事業者への賃料補助の拡充を図ります。

多様性を認め合う社会の実現

多様性を認め合う社会の実現については、差別や偏見をなくすため、より一層、人権意識の啓発に取り組むとともに、3月に策定する「男女共同参画KOTOプラン2021(第7次男女共同参画行動計画)」に基づき、社会状況の変化に沿った施策を、総合的かつ計画的に推進していきます。

観光・文化振興

観光施策では、本年1月に本区が「渋沢栄一翁の顕彰に関する包括連携協定」に加盟したことを記念して、渋沢栄一と本区のつながりを区内外にPRするための各種イベントを開催します。また、今後の継続的な事業展開を見据え、庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、「ふるさと納税活用事業」として位置づけます。

芸術文化振興では、区独自の文化プログラムをより一層推進するとともに、江東公会堂においては、動画配信に向けた体制整備を図っていきます。

ともに支えあい、健康に生き生きと暮らせるまち

楽しく、無理せず健康づくり

健康増進事業では、区民が楽しく、無理せず健康づくりに取り組めるよう、ウォーキングなどの健康活動にポイントを付与し、賞品と交換できる仕組みを取り入れます。

高齢者施策・障害者施策の充実

高齢者施策では、「江東区高齢者地域包括ケア計画」を本年3月に策定し、団塊の世代が75歳以上となる2025年、さらに団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据え、地域包括ケアシステムのさらなる拡充や円滑な介護保険事業の運営を進めていきます。

障害者施策では、本年3月に策定する「障害福祉計画・障害児福祉計画」に基づき、障害者入所施設の整備など、障害者一人ひとりが望む地域生活の実現に向けて取り組んでいきます。



▲障害者とのコミュニケーションを促進

住みよさを実感できる世界に誇れるまち

人に優しいまちづくりを推進

鉄道駅のバリアフリー推進については、鉄道事業者が実施するホームドア整備費用の一部を区が助成し、人に優しいまちづくりを推進していきます。

住宅施策については、老朽化する区営住宅5団地において、建替・集約事業が本格化し、猿江一丁目アパート・大島五丁目住宅の居住者の仮移転を実施します。

防災・防犯対策の充実

防災対策では「国土強靱化地域計画」の策定を進めるとともに、不燃化特区および不燃化推進地区において、初期消火態勢の強化のため街頭消火器の再整備を行います。

水防対策では、短時間に排水施設の処理能力を超える雨が降った場合に想定される「大雨浸水ハザードマップ」を改定します。

犯罪のないまちづくりに向けては、街頭防犯カメラ設置に加え、維持管理経費補助の新設、防犯パトロール資機材の支給、高齢者世帯への自動通話録音機の貸与等により、犯罪の抑止や地域の防犯力向上を図っていきます。



▲自動通話録音機

長期計画の実現に向けて

区民の誰もが安全・安心と支えあいを実感できる江東区づくり

区民サービスの向上や事務の効率化のため、「江東区情報化推進プラン」に基づき、AIやRPAなどのICT技術を活用し、本区のデジタル化に係る取り組みを着実に進めていきます。

また、行財政運営にあたっては、「江東区行財政改革計画」を確実に推進するとともに、外部評価を活用した事業見直しや、新たな施策の創出などを通し、長期計画の着実な推進を図っていきます。

コロナ禍にあっても、区民の誰もが安全・安心と支えあいを実感できる江東区づくりにまい進し、区民の負託と信頼に、意欲・スピード・思いやりを持って応えていきます。

小学校低学年期の子どもたち6

進級に向けての励ましのメッセージ

コロナ禍で不自由な生活を強いられる日々ですが、早いもので子どもたちにとって嬉しい進級が近づいてきました。今回はこの時期に大事なことをお話します。

夢中になれること

進級は、楽しみと不安を伴う一大イベントです。こどもは、その段差を自力で乗り越えることによって自信をつけていきます。

善悪の判断力

昔から「親の後ろ姿を見て子は育つ」と言います。まさに今こそ、そういう道徳性がこどもの心に沁みとおる時です。この世の中で、何が善いこと、何が悪いことなのか、親の言葉と行動を、こどもは真似をしつつ、その価値観を吸収し学んでいくのです。

甘えと自立の繰り返し

人への思いやり、モノを大事にする、暴力は許さないなど、親が大切にしている信念を、しっかりと伝えていきたいものです。

家庭での仕事役割

親に庇護される一方だった幼児性から抜け出して、こどもたちの自立・自律が始まっています。家庭生活のなかで意識的に、こどもに任せられる仕事を探してみましよう。

地域教育課社会教育担当

本棚の整理、食事の準備や片づけの一部、お風呂掃除など家庭の実情に合わせて話し合ってください。仕事は習慣になるよう継続することが大切です。長続きのコツは指示や

焦らず、くさらず、あきらめず、こどもと共に過ごす毎日を楽しんでください。

☎(3647)9676  
FAX(3647)9274